

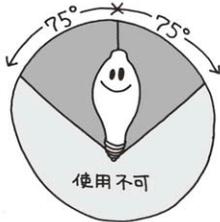
「HIDランプ」を安全にご使用いただくために

安全上の注意

警告



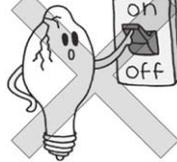
点灯方向に指定のあるランプは、必ず指定方向で使用してください。



破損した場合、ガラス破片飛散によるケガの原因となります。



ランプの外管（ガラス球）が割れたままでは、絶対に点灯しないでください。

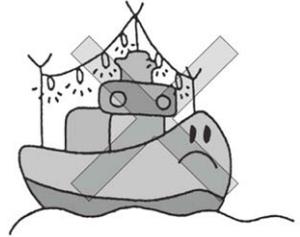


紫外放射による目の痛み、視力障害や皮膚の炎症、日焼け、破損及び落下によるケガの原因となります。

●直ちに電源を切ってランプを交換してください。



一般形ランプは集魚灯用に使用しないでください。

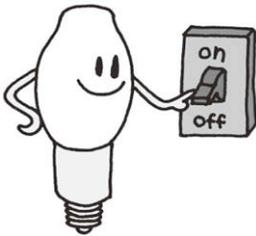


破損によるケガの原因となります。

●集魚灯を使用してください。



取り付け、取り外しや器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。



感電の原因となります。



メタルハイドランプをご使用の際は、万一のランプ破損・落下防止のために、強化ガラスを使用した密閉器具、もしくは当社指定の密閉器具を必ずご使用ください。

破損した場合、ガラス破片飛散によるケガの原因となります。(ただし、ネオセラブライド(145Wを除く)、ネオセラCEシリーズ(リフレクタータイプ)、HL-ネオセラ2、HL-ネオセラ3、マスターカラーCDM(CDM-TP及びCDM-R)、HL-ネオハライド2については、密閉器具である必要はありません。

また、HL-ネオハライドランプを鉛直方向から±15°以内の傾きで点灯する場合も必要ありません)



ネオセラブライド100W(G12口金)・145W、ネオセラCEシリーズ、G8.5口金タイプ及びG12口金タイプ、マスターカラーCDM(CDM-TD、CDM-T及びCDM-TC)、HQLランプ、ダイナビーム2は、専用器具の前面ガラスを取り外したり割れた状態でランプを使用しないでください。

紫外放射による目の痛み、視力障害や皮膚の炎症、日焼け、破損及び落下によるケガの原因となります。

●直ちに電源を切って前面ガラスの取り付けや交換をしてください。



紙や布などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。

火災や灯具過熱の原因となります。



器具の前面ガラスを取り外したり割れた状態でランプを使用したりしないでください。

紫外放射による目の痛み、視力障害や皮膚の炎症、日焼け、破損及び落下によるケガの原因となります。



ネオセラブライド(MTS100CHE、MT145CHE)、ネオセラCEシリーズ(G8.5口金タイプ及びG12口金タイプ)、マスターカラーCDM(CDM-TD、CDM-T及びCDM-TC)、HQLランプ、ダイナビーム2、HL-ネオハライドランプ(BD点灯タイプを鉛直から±15°を超え傾けて点灯する場合及びBH点灯タイプ)、ネオハライドは、強化ガラスを使用した密閉器具、もしくは当社指定の密閉器具を必ずご使用ください。

破損した場合、ガラス破片飛散によるケガの原因となります。



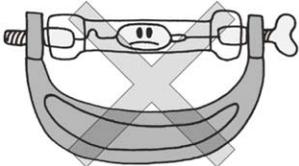
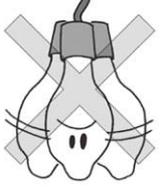
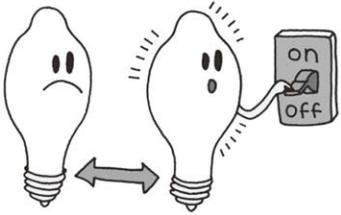
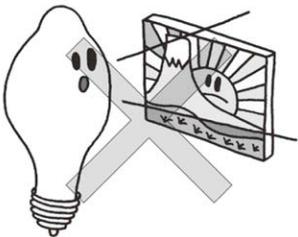
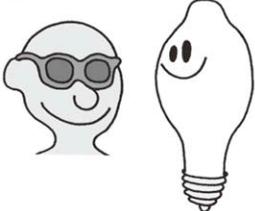
適合した器具及び安定器で指定されたワット数と品種のランプを必ず使用してください。

火災、発煙、過熱やランプ破損によるケガの原因となります。

「HIDランプ」を安全にご使用いただくために

安全上の注意

⚠ 注 意

<p>点灯中や消灯後しばらくは、ランプが熱いので絶対に手や肌などをふれないでください。</p>  <p>ヤケドの原因となることがあります。 ●交換や清掃は十分に冷えてから保護具（眼鏡、手袋など）を着用して行ってください。</p>	<p>ソケットに確実に取り付けてください。</p>  <p>ランプの落下によるケガや接触不良による口金及び受け金部の過熱・溶融や発煙の原因となることがあります。 ●ソケットのガタや間隔を十分確かめてください。</p>	<p>塗料などを塗らないでください。</p>  <p>ランプが過熱・変形・発煙し、破損によるケガの原因となることがあります。</p>
<p>HQIランプ及びマスターカラーCDM（CDM-TD）をご使用の場合、取り付けは水平の位置からソケットに挿入し、無理な力を加えないでください。</p>  <p>ランプに無理な力を加えると破損し、ケガの原因となることがあります。</p>	<p>雨や水滴がかかる状態や、湿度の高いところで使用しないでください。</p>  <p>絶縁不良、落下及び破損によるケガの原因となることがあります。 ●防水（防雨、防湿）構造の器具を使用してください。</p>	<p>酸、アルカリ、硫黄などの腐食性雰囲気のところ（温泉地など）では、一般器具によるランプの使用はしないでください。</p>  <p>漏電や落下及び破損によるケガの原因となることがあります。 ●耐蝕構造の器具を使用してください。</p>
<p>振動や衝撃のあるところでは、一般器具によるランプの使用はしないでください。</p>  <p>落下及び破損によるケガの原因となることがあります。 ●耐振構造を考慮した器具を使用してください。</p>	<p>粉塵の多いところでは、一般器具によるランプの使用はしないでください。</p>  <p>器具の過熱の原因となることがあります。 ●防塵構造の器具を使用してください。</p>	<p>点滅など正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切ってランプを交換してください。</p>  <p>安定器焼損、配線または器具の絶縁劣化の原因となることがあります。</p>
<p>退色をさけたい場合にはメタルハライドランプ、水銀ランプを使用しないでください。</p> 	<p>ランプから近距離のところで長時間作業をしたり、ランプを直視しないでください。</p>  <p>紫外放射による目の痛み、視力障害や皮膚の炎症、日焼けの原因となることがあります。 ●皮膚及び目の保護をしてください。</p>	<p>使用済のランプは割らずに廃棄してください。</p>  <p>（ランプを割ると）ガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。</p>

次頁へ続く →

安全上の注意

→前頁の続き

注意

<p>既設の照明設備で点灯する場合には、安定器、照明器具、配線に絶縁劣化がないことを点検の上、使用してください。</p> <p>安定器焼損及び漏電の原因となることがあります。</p> <p>●補修又は更新してください。</p>	<p>落としたり、物をぶつけたり、(荷重をかけたり)、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。</p> <p>(特に器具清掃のときは、注意してください。)落下及び破損によるケガの原因となることがあります。</p>	<p>引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵など)で使用しないでください。</p> <p>火災や爆発の原因となることがあります。</p> <p>●防爆構造の器具に適合するランプを組み合わせ使用してください。</p>
<p>低圧ナトリウムランプを廃棄処分する場合には、発火の危険性を防ぐようにしてください。</p> <p>ランプには、少量のナトリウムが含まれており、ナトリウム滴が露出して水分に触れると発火の原因となることがあります。</p>	<p>定格寿命を経過したランプは、交換をおすすめします。</p> <p>まれに破損する原因となることがあります。</p>	<p>連続点灯で使用する場合は、ランプ異常の有無を確認するため、一週間に一度は消灯してください。</p> <p>ランプ異常によりまれに安定器が焼損することがあります。</p>
<p>ランプから強い光が出ていますので、目の痛みや視力障害の原因となることがあります。</p>	<p>ネオセラCE (G8.5口金タイプ及びG12口金タイプ)、HQLランプ、マスターカラーCDM (CDM-TD、CDM-T及びCDM-TC) 及びダイナビーム2は、素手や汚れた手袋で触れないでください。</p> <p>汚れたまま点灯するとガラス球が劣化して破損し、ケガの原因となることがあります。</p> <p>●きれいな手袋などを使用してください。汚れた場合には、アルコールなどを浸したきれいな布で拭き取ってください。</p>	

ご使用上の注意

<p>フッ素樹脂膜付きランプは、鋭利なものをぶつけたり、みがき粉等でランプを清掃しないでください。樹脂膜やカット膜にキズがついたり、剥離の原因となることがあります。</p>	<p>【器具設計上の注意】 口金部の温度は230℃以下で使用してください。指定の温度を超えて使用すると口金外れによる落下の原因となることがあります。</p> <p>●適合器具の選択又は設計をしてください。(但し、HQLランプは*250℃以下、ネオセラCE(G8.5口金タイプ、G12口金タイプ)は*350℃以下、低圧ナトリウムランプは150℃以下) 注)*は封止部温度を示す。</p>	<p>安定器からランプ(ソケット)までの管灯回路長に制限のある場合は、指定の長さ以下で使用してください。不点灯の原因となることがあります。</p> <p>ランプを調光して使用しないでください。調光すると短寿命、不点灯、特性変化をおこす原因となることがあります。(但し、ネオセラ、水銀ランプ、高圧ナトリウムランプの一部の品種を除く。)</p>
<p>電源電圧は指定された電圧±6%の範囲で使用してください。</p> <p>指定以外の電圧で使用すると破損及び短寿命や不点灯の原因となることがあります。</p> <p>●適正電圧に調整してください。</p>	<p>急激な電圧降下(5%以上)がある場合、ランプが消灯することがあります。</p>	<p>指定された電圧(または安定器に指定された電圧)で使用してください。指定以外の電圧で使用すると破損及び短寿命や不点灯の原因となることがあります。</p>
<p>試験点灯(11時間点灯・1時間消灯)よりも短いサイクルで点滅した場合、光束維持率の低下や短寿命の原因となる場合があります。</p>	<p>フッ素樹脂膜付きランプは、ランプ表面温度が260℃を超える状態での使用はしないでください。破損の原因となることがあります。</p>	